

学内ファンドによる人文・社会科学分野のチーム研究支援

神谷 俊郎・稲石 奈津子・天野 絵里子・佐々木 結・小泉 都・ヴィットフェルト アーロン
京都大学 学術研究支援室 (KURA)

発表の目的

京都大学は、チーム研究の形成を支援する学内ファンドを提供している。チーム形成からプロジェクト試行/発展の段階を支援するふたつのファンドを人文・社会科学分野のチーム研究に着目して紹介する。



支援対象となる
チーム研究の
3つのタイプ

アイデア醸成 → チーム形成 → プロジェクト試行/発展

京大100人論文

運営：学際センター

全分野交流会

運営：学際センター

学際研究着想コンテスト

運営：学際センター

分野横断 プラットフォーム 構築事業

運営：学際センター・KURA

SPIRITS

国際型

学際型

産官学共創型

運営：KURA

人
社
重
点
領
域
2019～

チーム研究推進の各取組みと学内ファンド

分野横断プラットフォーム構築事業

あの分野の研究者と
話す機会は
自分でつくれます。

学際センターが研究会開催資金を助成します

2019年度 分野横断プラットフォーム構築事業 公募要項
公募期間：2019年6月11日～6月30日
公募条件：京都大学に所属する専攻研究員、
専攻研究員以外で京都大学に所属する専攻研究員、
専攻研究員以外で京都大学に所属する専攻研究員
公募内容：学際研究の推進を支援するためのマッチング支援
マッチング支援により、専攻研究員と専攻研究員との
マッチング支援により、専攻研究員と専攻研究員との

学際研究が芽吹く土壌（プラットフォーム）をつくるために2013年から学際融合教育研究推進センターとKURAとが共同設計・運営をしている事業。

支援内容 学際的な企画（研究会等）に対して、資金提供とアドバイス【1】をおこなう

応募資格 学際研究の萌芽的アイデアがあり、プロジェクトの実現に向け動きだそうとしている京大の研究者（企画グループには学外研究者や実務家も参加可）

助成金額 1件あたり30万～90万円程度（2018年度）

審査方法 書面審査および面談【2】（採択まで約1ヶ月半）

URAの役割 運営、審査、企画者の希望があれば伴走支援

【1】 各種アドバイス（企画デザイン、ファシリテーション、広報など）、他分野の人材の紹介など

【2】 面談をしないと学際性がはっきりしない場合がある

人文・社会科学系分野が参加している企画

文系、理系を問わず学際的な企画を募集しているが、人文・社会科学分野の研究者が多く参加している。

文系 28件 文系+理系 32件 理系 18件（6年間合計）

採択された企画内容の例（年度）

- “歴史的イベント”を歴史学と文化人類学を融合させた方法論で描き出す（2018）
⇒本の出版準備中
- 文学におけるリアリズムについて語圈/文化横断的に検討する（2017）⇒活動継続中
- 台湾について、異なる研究分野（歴史学、政治学、文化人類学など）異なる視点（対中国、対日本）の研究者が集まり、多角的に検討する（2014）
⇒『台湾を知るための60章』（明石書店）2016年刊行
- 人工知能と社会の関係を分野横断的に議論する（2014）
⇒RISTEX「人と情報のエコシステム」への採択 2016年度
多様な価値への気づきを支援するシステムとその研究体制の構築



作成協力：白井哲哉

SPIRITS Supporting Program for Interaction-Based Initiative Team Studies

国際化の推進、未踏領域・未科学への挑戦、イノベーションの創出を加速させるために、URAが設計・運営。経費支援だけでなく、申請時のチーム形成からプロジェクト発展のための外部資金獲得まで、URAが伴走支援を行うのが特徴。以下の3つのタイプの研究チームの形成を支援。

国際型 海外の研究組織・研究者との新たな国際共同研究

学際型 未踏領域の開拓に挑戦する異分野融合研究

産官学共創型 企業や自治体とともに社会価値創造を目指す研究

採択されたプロジェクトの例（型；年度）

- 生命倫理の国際的・学際的ネットワーク形成による研究・教育体制の構築（学際型；2014）
⇒国際ワークショップの開催、教育コースの実施
- 京都学派の思想的遺産に基づく「日本哲学」研究のネットワーク形成（国際型；2016）
⇒アジアを中心とした哲学者のネットワークに発展
- 宇宙開発における道徳的・社会的問題の総合的研究（学際型；2016）
⇒報告書の発行、『宇宙倫理学』（昭和堂）2018年刊行

人文・社会科学分野のチーム研究をもっと支援したい！

SPIRITS—人社重点領域—

2019年度の公募事業では、通常枠とは別に、指定国立大学法人としての取り組み「人文知の未来形発信」に資するプロジェクトを「重点領域」として募集。人社分野の研究プロジェクトからの積極的な申請を促進。

提案例 人社分野の知を核として学際的・部局横断的研究のさらなる

- 活性化を目指すために「発信」を行う
- 本学の国際的・国内学界におけるプレゼンスを向上させるため、人社分野における学術成果の多言語での発信を促進する
- 本学人社分野の国内外における社会的認知度を向上させるため、マルチメディア発信を行う

通常枠とは別途、人文・社会科学系（を含む学際的研究プロジェクト）を採択予定。

⇒2年後の成果に期待！

